

図書館だより

NO 4



暑い夏、ながーい夏休みが始まります。
 どのように過ごしますか？
 図書館では、いろいろ楽しい計画を立てています。
 イベントのチラシを見て参加してみてください。
 きっと、楽しいよ。おもしろいよ。



「なりきり司書体験」「プログラミング講座」
 「夏の夜のこわいおはなし会」「マジック教室」
 どれも楽しそう。
 ※ スタンプラリーや自由研究、工作のヒント
 になる本や展示もたくさんあるよ。

しってた？

図書館の利用カードを作ると
八女市の電子図書館が家でも見れるって！



利用カードの
 利用者番号と生年月日
 (西暦)を入力すると
 サインインできるよ。



利用カード

利用者番号



八女市立図書館



利用カードがあると、家にあるパソコンや携帯電話、
 タブレットなどでも電子図書館が利用できます。

先生や大人の人たちから「本を読みなさい。」「本を読むと頭がよくなるよ。」といったことを聞いたことがあるでしょう。なぜ、そういわれるのでしょうか。

考えてみました。

本を読むって？



人は、生まれた時から「見る」「聞く」「かぐ」「さわる」「味わう」などの働きが備わっているんだ。
でも、文字を「読む」という働きは備わっていないんだよ。

では、どうして本を読んでいる
ことを想像したり、いろんな感情を抱いたりすることができるの？



文字を読むことは、人間にもともと備わっていないから、脳にとっては結構きついことなんだ。今からその話をするね。



「文字」を見ると、目から映像として取り入れられ、頭の中のスクリーンに映し出されるよ。

No.1

脳のスクリーン

いちご



次に、その映像と脳で記憶していた「文字の辞書」を照らし合わせ、「〇〇」という文字だと認識するんだ。この、複雑な作業を脳は一瞬で処理するんだよ。すごいでしょ！

No.2

文字の辞書

「いちご」
= 文字




最後に、認識した「文字」と記憶していた「意味の辞書」やこれまでの経験と照らし合わせ、その「意味」を理解するんだ。
本を読むって、ほんとに大変だね。テレビやマンガなどが好きなのもわかるね。

No.3

意味の辞書

経験

「いちご」
= 



大変だからこそ、脳の働きが活発になり、思考力や想像力が高まるのよ。

なるほど～！ 脳の「筋トレ」みたいだね。



八女市の5つの分館とBM（移動図書館）

立花分館

8月18日（金）10時より子ども向けのDVD上映会を行います。作品は『映画 すみっこぐらし 青い月夜のまほうのこ』を予定しています。申し込み不要、入場無料でどなたでもご参加いただけます。

（おすすめ）

『食いねえ!お寿司まるごと図鑑』
阿部秀樹／写真・文 偕成社

お寿司の歴史や寿司ネタになる海の生き物について写真付きで詳しく知ることができます。読んだらお寿司が食べたくなりますよ。



黒木分館

夏休みには図書館内にて「ビブリオ・クエスト」という謎解きRPG風イベントを開催する予定です。参加して称号を手に入れよう！対象は小学生以上ですが、小さいお子さんはぜひ家族の人と一緒に参加してください。

（おすすめ）

『写真でたどる麗しの紳士服図鑑』
リディア・エドワーズ／著 河出書房新社

1600年代から現代にいたるまでの紳士服の歴史について、絵画や写真、時代考察などを踏まえ説明してある図鑑です。眺めたり、イラストの参考にしたりするのに良い1冊です。



星野分館

星野分館では、有限会社ジョイ池田様から、しかけ絵本やビッグブック等、6冊の絵本を寄贈してもらいました。しかけをさわると絵がうごくので小さいお子様でも本をたのしめます。親子で読んでみてくださいね。



（おすすめ）

『茶のゆのくに まっちゃんのおもてなし』
吉川嘉宏／作 吉田ユウスケ／絵 淡交社

まっちゃん「茶のゆのくに」のなかまたちが、おいしいお茶とおかしておきゃくさまをもてなします。

お茶のどうぐやきせつのおかしもおしえてくれる、「おもてなし」の本です。



上陽分館

上陽分館には、『やる気ぐんぐんシリーズ』と『学校では教えてくれない大切なこと』が全巻そろっています。マンガとイラストでわかりやすく、勉強や夏休みの自由研究の参考にもなります。ぜひ読んでみてください。

（おすすめ）

『おもしろい話、集めました』

ひのひまり・深見ゆずは・平河ゆうき・高杉六花／作
角川つばさ文庫 KADOKAWA]

おすすめの4シリーズの書き下ろし小説。「四つ子ぐらし」「スイッチ!」「さよならは、言えない。」「泣き虫マッシュ!」おもしろさは保証つき★お気に入りが見つかる1冊!



矢部分館

矢部分館は、国道442号線沿いの矢部支所の向かい側で、旧矢部小学校の建物の中にあります。矢部や大分方面にお越しの際はぜひお立ち寄りください。夏休みには、イベントを開催しますので楽しんでみてください。

（おすすめ）

『かまどろぼう』

桂文我／作 きたやまようこ／絵 BL出版

「このごろ、とうふ屋のかまがぬすまれている」そう聞いたとうふ屋の主人は心配で、かまの中で寝ることに。その晩、何も知らないどろぼうがかまをぬすみ出しますが・・・。



移動図書館

八女市には、3台の移動図書館車があります。

- ・「はしる夢のぶっくらんど号」 上陽・星野地区
 - ・「ほんの森ぶっくるん号」 旧八女市・立花地区
 - ・「ゆめみらい号」 黒木・矢部地区
- 本を700冊～1300冊積んで回ってます。

いろいろな本があり、選ぶのが楽しいですよ。車の中に入って選ぶこともできます。本の貸し出し、返却はもちろん、利用者カードも作れますよ。



幼稚・保育所（園）、市立学校、市内高等学校の紹介

上妻保育園

上妻保育園には、図書コーナーがあり、たくさんの絵本や紙芝居があります。毎日全クラス年齢に応じた絵本や紙芝居を選び読み聞かせを行っています。

職員の読み聞かせの他に、自由時間に絵本を読めるようにあそびのコーナーに絵本を並べています。子どもたちは、自由に絵本を手に取り楽しんでいます。また、月に一回、「絵本の日」があり、八女市の移動図書館「ぶっくるん」号が巡回に来てくださっており、3、4、5歳児は、様々なジャンルの中から読みたい本を喜んで選んで借りています。みんな絵本が好きで、お話が始まるとしっかり耳を傾けてくれます。



立花中学校

立花中学校では、文化常任委員会図書係を中心に様々な読書活動をしています。

図書館のマナーポスターやおすすめの本のPOP作成、出題された本を読まないといけない分類クイズや中身は借りてからの楽しみ「福BOOKろ」などなど、みんなが本に興味をもってくれるように取り組んでいます。中でも1番楽しみにしているのが立花小学校への読み聞かせです。小学校のみなさん楽しみにしててくださいね。立花中学校の図書館は3階にあるので、見晴らしもよく、鳥のさえずりが聞こえるのどかな場所にあります。図書館で過ごすことが心の癒しになれるようにこれからも活動していきます。

黒木西小学校

黒木西小学校の様々な取組の中から二つ紹介します。まず、「おすすめの本～私の心に残った本」の紹介です。紹介したい場面の絵、感想やおすすめ理由を書いたものを図書室入り口付近に掲示しています。

次に、朝の活動や雨の日の昼休みに行う読み聞かせです。地域の読書ボランティアの方々、図書委員会の子どもたち、たまに担任の先生等に絵本や紙芝居、パネルシアター等を用いた読み聞かせをしています。

雨の日の昼休みは、30～40人の子どもがたちがお話を聞いて楽しんでます。

八女学院中・高等学校

八女学院中学・高等学校では、一つの図書館を中学生と高校生、そして先生たちが一緒に利用しています。なかには先生向けの資料や高校生向けの本を手取る中学生もいて、楽しみです。学期ごとに購入した本を図書室入り口に設置した「新着図書コーナー」に置いて見てもらっています。

昨年は、中学部図書委員が、本への興味と図書館への関心を持ってもらいために、独自の「読書感想文コンクール」「ポップコンクール」(下)を開催しました。八女学院の図書委員は希望制で、中学部の委員と高校部の委員たちが協働して運営しています。本が好き、図書館が好きという人たちがたくさんなのでいろいろな企画が生まれてくると思います。



【開館時間】

本館 <火～金> 10:00～20:00
<土、日、祝日> 10:00～18:00
分館 9:00～17:30
※ 全館：毎月最終金曜日館内整理日のために休館

【休館日】

本館：毎週月曜日 ※月曜以外の祝日は開館
黒木：毎週火曜日、月曜以外の祝日
上陽・立花・矢部・星野：毎週月曜日、祝日